

答申に向けて検討が必要な事項（案）

1 高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的な改革

○ 改革の目標

高等学校教育：「共通に身につけるべき基礎学力」の保証と、生徒の「多様性の重視・主体性の涵養」

大学教育：多様な学生に対する「主体的に学び、考える力」の育成

大学入学者選抜：各大学の入学者選抜と国レベルで実施するテスト（※）の連携による高等学校教育・大学教育改革の目標達成の支援

※「達成度テスト（基礎レベル）（仮称）」及び「達成度テスト（発展レベル）（仮称）」

○ 改革の方法

高等学校教育：「基礎学力」の保証のためのテストの導入

多様な生徒のための学習方法・教育方法の開発と実践

大学教育：多様な学生が多様な方法で「主体的に学び、考える力」を身につけることのできる学習方法・教育方法の開発と実践

大学入学者選抜：各大学による、多様性と主体性を重視した選抜方法の開発と実践

受検者の多様性のもとで「主体的に学び、考える力」を評価するテストの導入

各大学の入学者選抜方法と国レベルで実施するテストの連携

2 各大学の大学入学者選抜の在り方

○ 入学志願者の多様な背景と主体性を重視

（高校時代の多様な経験や活動歴、主体的に学ぶ力、大学での学修に対する意欲等を適切に評価）

○各大学における多様性と主体性を重視した入学者選抜方法の開発や入試改革の実施体制（アドミッション・オフィス）の整備を支援

○各大学によるアドミッションポリシーの明確化による選抜方法の明示

- ・入学志願者の多様で主体的な活動経験・学習経験を評価
- ・討論や発表、小論文、面接、実験、実技等で多面的・総合的に評価
- ・「達成度テスト」において各大学が入学者志願者に求める水準を明示

○各大学の大学入学者選抜方法と「達成度テスト」の連携

- ・各大学の入学者選抜は多様性・主体性に基づく総合力の評価
- ・「達成度テスト（発展レベル）（仮称）」は、知識・技能の活用力の評価を中心とし、各大学の入学者選抜方法と連携する

3 国レベルで実施するテストの在り方

○「達成度テスト」の基本的な枠組み

- ・「達成度テスト（基礎レベル）（仮称）」は、上記の高等学校教育の改革の目標のうち、基礎学力の保証及び生徒の学習改善を目的とする
- ・「達成度テスト（発展レベル）（仮称）」は、上記の大学教育の改革の目標のうち、多様な学生が「主体的に学び、考える力」を身につけるための基盤となる、知識・技能を活用する力の向上を図ることを目的とする

○上記の目的を達成するための、「達成度テスト」の内容及び実施方法と、それらを実現するための技術的・専門的検討

- ・「達成度テスト（基礎レベル）（仮称）」と「達成度テスト（発展レベル）（仮称）」の在り方について一体的に検討を行う体制の整備
- ・大学入試センター等の関係機関やテスト理論の専門家等による検討